



*今月は「アンダーソン・クーパー360°」に代わり、「ファリード・ザカリアGPS」を掲載します

Mad Escapade

首謀者プリゴジンは処罰受けず
プーチン政権に激震走る
「ワグネル反乱」はなぜ起きた？

飼い犬に手を噛まれるとはまさにこのことか——。ウクライナ侵略で暗躍する民間軍事会社「ワグネル」の創設者エフゲニー・プリゴジン氏が政府と軍高官らに反旗を翻し、部隊を首都モスクワに向けて進軍させた。結局は頓挫したものの、プーチン政権の脆弱性をあらわにしたこのクーデターは一体何だったのか。ファリード・ザカリアが、モスクワの現地リポーターと、ロシア情勢に詳しい専門家2人から話を聞き、事態を整理する。



番組ホスト

ファリード・ザカリア

インド出身のジャーナリスト、国際問題評論家。イエール大学卒業後、ハーバード大学で博士号を取得。国際政治経済ジャーナル「フォーリン・アフェアーズ」編集長、ニュース週刊誌「ニューズウィーク」の国際版編集長を経て、2008年6月よりCNNで「Fareed Zakaria GPS」の番組ホストを務める。1964年、ムンバイ生まれ。

リポーター

マシュー・チャンス

モスクワを拠点に活動するCNNの上級国際特派員。イギリス人。20年以上にわたり、中東、アフガニスタン、ロシア、チェチェンなどの紛争を現地からリポートしてきたベテラン記者で、ロシアのプーチン大統領やウクライナのゼレンスキー大統領といった、要人へのインタビュー経験も豊富。



*お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

64 ワグネル反乱から一夜明けたモスクワ



Fareed Zakaria It's been an extraordinary 48 hours in Russia as the world watched what President Putin called an armed rebellion. The rebel leader, Yevgeny Prigozhin, was the Kremlin's top caterer before he threw away his kitchen apron. He now wears military fatigues as the head of the shadowy Wagner Group, which has provided mercenaries for conflicts in Africa and the Middle East and most recently has been a key player in Russia's war against Ukraine. According to statements from the Russian government, the criminal case against Prigozhin was dropped yesterday after he agreed to leave Russia and go to Belarus. For more, let me bring in CNN's Matthew Chance in Moscow.

Good to have you, Matthew. What is the mood in Moscow?



Matthew Chance Yesterday, the mood was extremely anxious. It was bracing itself, the city

extraordinary:
驚くべき、異常な
armed rebellion:
武装反乱
rebel:
反逆の、謀反の
Yevgeny Prigozhin:
エフゲニー・プリゴジン
▶ロシアの新興財閥(オリガルヒ)の一人で、プーチン大統領とつながりの深い実業家。民間軍事会社「ワグネル」の創設者。
the Kremlin:
ロシア政府
caterer:
ケータリング業者、仕出し屋
throw away:
~を投げ捨てる
military fatigues:
軍服、略式軍服
shadowy:
闇の、謎に包まれた
the Wagner Group:
ワグネル・グループ
▶民間の軍事会社。ウクライナでのドンバス戦争をはじめ、アフリカの紛争やシリア内線にも派兵。今回の戦争では、数万人の受刑者を戦地に送り込んでいいる。
mercenary:
傭兵(ようへい)
conflict:
紛争、戦争
criminal case:
犯罪捜査、刑事訴訟
drop:
~をやめる、中止する

extremely:
極度に、極端に
brace oneself for:
~に備えて身構える、気を引き締める

ファリード・ザカリア プーチン大統領が「武装反乱」と呼ぶ事態を世界が見守る中、ロシアでは驚くべき48時間が過ぎました。反乱の指揮者、エフゲニー・プリゴジン氏は、ロシア政府お抱えのケータリング業者でしたが、厨房のエプロンを脱ぎ捨てて、今は軍服に身を包み、暗躍する(民間軍事会社)「ワグネル・グループ」を率いています。この組織は、アフリカや中東での紛争に傭兵を送り込み、直近ではロシアのウクライナ侵攻で重要な役割を果たしてきました。ロシア政府の声明によると、プリゴジン氏に対する刑事捜査は、彼がロシアを出国してベラルーシに亡命することに合意した後、昨日、打ち切られました。ここでモスクワからCNNのマシュー・チャンス記者に詳しく伝えてもらいます。

マシュー、出演ありがとう。モスクワ市内はどんな様子ですか。

マシュー・チャンス 昨日、こちらは極度の緊張感に包まれていました。血なまぐさい闘争に発展する